



中央大学高等学校

SCHOOL GUIDE 2025

CHUO

UNIVERSITY HIGH SCHOOL

中央大学高等学校

未来への誓い

私たちは、試練を乗り越えてきた先輩から、決して諦めない心を学びました。
そして後輩へ、
新たな挑戦をし続け、何事にもくじけない心を伝えます。
今、世界はかつて経験をしたことのない困難に直面し、
大きな苦しみにあえいでいます。
私たち自らが灯となって世界を照らし、
輝かしい未来を築く先駆けとなることを誓います。



【 PLEDGE FOR OUR FUTURE 】

*We have succeeded with our never-say-die attitude. Our past graduates have overcome many obstacles.
They would like to pass on their unbreakable spirit to future graduates, to help them deal with the
challenges they will face throughout their lives.
Currently our planet is facing unheard-of difficulties.
People are suffering from a wide variety of problems.
We now vow to set an example and be a guiding light that illuminates the world.
We will take the lead in creating a peaceful society for future generations.*



中央大学高等学校校長
中央大学理工学部教授

高倉 樹

中央大学高等学校は、昭和3年（1928年）に設立された、中央大学の附属4校の中で最も古い歴史を有する学校です。中央大学の学風である「質実剛健」の精神と「家族的情味」のある環境の中で教育を実践することを目指としています。「質実剛健」の精神とは、物事に誠実に真正面から取り組み、困難にひるむことなく考え行動する姿勢のことです。そして、本校における「家族的情味」のある環境とは、生徒一人一人の顔が見える関わりを通じて、生徒・教職員・保護者が互いに理解と協調を深め、全人的な成長を目指す環境のことです。

生徒の皆さんには、3年間の高校生活を通して幅広い視野を養い、心豊かに日々を過ごしてもらいたいと思います。そして皆さんそれぞれが、自身の可能性を大きく広げ、人間として大きく成長することを願っています。

日本そして世界が目まぐるしく変化していく中で、若い世代の皆さんには、他人を思いやる心を持ち、教養と知性を備えた国際人であることが求められています。中央大学高等学校では、「質実剛健」と「家族的情味」を柱として、生徒全員がそのような素養を身に付けられるように環境を整えてまいります。

自分を育てる、世界を拓く。



「質実剛健」と「家族的情味」が育むもの

『質実剛健』とは、時流に流されず、忍耐強く、自らを磨いていくこと。『家族的情味』とは、一人ひとりの顔が見える親身な教育を通じて、教師と生徒、保護者を加えた三者が親しみと信頼関係を築くという意味が込められています。これら2つの理念のもと、生徒の個性を健やかに伸ばすとともに、卒業後の飛躍へ向けた基本的な力を育んでいきます。

「自立」と「自律」のこころを育む

『自立』とは、親や他人に依存することなく、自分のことは自分でする心のこと。そして『自律』とは、物事の正邪をしっかりと見極めて、自分の行動を正しい方向へと導く心のことです。私たちは、日々の勉強、部活動、委員会活動などの集団活動や各種行事を通じて生徒の社会性を陶冶し、本当の『自立』と『自律』に導くことをめざします。

高い志を実現する「真」のリーダーを育成

『真』のリーダーとは、情報を知恵に昇華できる「学力」、人を惹きつける「徳力」、身体・精神双方の意味を含んだ「体力」の3つの力を備えた人物のことです。生徒たちにはそのような魅力のある人物になってもらいたいのです。そのためにも日々自覚を促しながら、毎日の生活を丁寧に生きること、徐々にその力を身に付けさせていきたいと考えています。

沿革

本校は昭和3年（1928年）に中央大学最初の附属校である「中央大学商業学校」として創立されました。当初は商業科のみの夜間定時制の学校として開校されましたが、平成5年（1993年）、昼間定時制に改め、現在の姿へと変遷をとげました。

質実剛健・家族的情味——本校では、中央大学の学風として今に受け継がれるこの二つの理念を体現する落ち着いた友愛に溢れる環境の中で、生徒の個性を健やかに伸ばすと共に、卒業後の飛躍へ向けた基本的な力を育んでいきます。

平成30年（2018年）に創立90周年を迎え、普遍的な教育理念に磨きをかけ、更なる発展をめざします。



次代を担う「真」のリーダーの育成を目指す。



「質実剛健」の精神と「家族的情味」の環境の中で
生きる力に溢れた広く社会に寄与できる人物を育てる。

将来を見据え、長い目で生涯の成長を支える

高校・大学の7年間をひとつのまとまりと捉えています。これを前提とした場合、大人と子供の中間的な存在である高校生の段階では、将来、社会の構成員として有為な人物・信頼されるリーダーとなるための「基礎的資質と素養」をしっかりと身につけることが重要です。そのためにも、長い目で生徒の成長を支える学校でありたいと考えています。

良識ある大人の基準による常識を伝える、生徒指導・生活指導

挨拶の励行、校則（生徒心得）を理解し、守ることのできる姿勢の獲得と同時に、クラス活動・課外活動・各種行事を通じた人間関係構築の機会を作り、その努力を応援します。また、他者の話に耳を傾け、理解しようとする気持ちや、相手を認める心（寛容の気持ち）の大切さを伝えます。それらを励行できる体制と雰囲気が本校にはあります。

「知識」と「探求」

附属校であれ、受験校であれ、「知識」の獲得と「探求」の姿勢が求められることは「あたりまえ」のことです。本校では、受験に捉われない附属校であることから、詰め込み型の「知識」の習得ではなく、「探求」の授業にも対応できる基礎学力の育成を目指しています。また、比較的小規模であるという特長を活かして、小テスト・宿題・課題などのきめ細かなチェックを行い、読書・新聞・レポート・発表などを通じて自ら学ぶ・考える・自分の意見を発信できる能力と姿勢を伸ばしていきます。

英語力に関しては大学入学後を見据え、卒業までに4技能を意識して英検®2級※取得を目指し「O」時限に特講を開いています。取得後は、準1級あるいはTEAP（スコア型）の受験を推奨しています。

※中央大学に推薦されるためには、現行における英検®2級の資格を有していることが必須となります（ただし、相応の事情があり、その資格を取得できない場合は、校長がその資格に相当する学力を有すると認めた者）。

在校生メッセージ



O・W

3年生 生徒会長
豊島区立西池袋中学校出身

将来に向けて、ヒントを与えてくれるような教育

先生との距離の近いことで、わからないことがあれば聞きやすいというところは中大高の一番いいところかも知れません。そのうえで大学や社会との関わりを感じられる『キャリア講座』などの授業も楽しく、普段の学習だけではなく3年間を通して、いろいろなかたちで将来に向けてヒントを与えてくれるような教育を通して、“そこから先（将来）のことは自分で見つけるんだよ”と教えてくれているのが中大高の教育なのだと思います。

STUDENTS'
VIEW POINT



一人ひとりに寄り添う学習指導

大学附属であり、小規模である学校の利点を活かし、一人ひとりを見守りながら学習指導を実施しています。本校には中央大学への進学希望者のみならず、他大学への進学を目指す生徒もいますが、いずれの場合でも必要な基礎学力の定着を図りながら、苦手科目のある生徒には基礎から補強し、力のある生徒にはより上を目指す環境を整えています。

「昼間定時制」の利点を活かす

施設上の理由から「昼間定時制」をとっているため、始業時間は全日制の学校より遅く、朝は9時15分までに入室するのが“通常”です（授業終了時間は15時50分）。そのため、余裕を持って通学することができます。3年間で高等学校の全課程を終了し、進学に向けた勉強や課外活動などは全日制と変わりません。

多様な進路希望に応える学力の養成

1・2年次は大学進学および進学後の学びをより伸長させるための「基礎」に重点を置きます。そのうえで2年次より、興味・関心、意欲の高い生徒を対象にした自由選択科目を「0時限」として実施。3年次からは文系・理系、中大推薦希望・他大学受験希望など、進路に合わせた科目選択や各種講座を通して、各自の進学に必要な能力を養います。

在校生メッセージ



K・S

2年生 生徒会副会長
横浜市立松本中学校出身

お互いに教え合い、補え合うことができる環境

中大高の学習は受験のための勉強というよりは、一単元をじっくり、ゆっくり学ぶことができている印象があります。それはレベルの高い授業であることも実感できる内容であり、附属校ならではのことも知れません。また、中学の時とは違って同じくらいの学力の人たちが集まっているため、お互いに教え合い、補え合うことができるのも私にとっては大きなプラス。『特講』などの授業があるのもいい部分だと思います。

STUDENTS'
VIEW POINT

着実な基礎学力の上に、
応用力・実践力を積み重ねていく、堅実な学習指導。



教育課程

1年生 ————— 自覚を持つ（基本重視の共通科目）

必修単位数	選択単位数
32	2

必修科目				自由選択科目	
国語	論理国語	2	古典基礎	2	
地理歴史	歴史総合	2			
公民	政治・経済	2			
数学	数学Ⅱ	4	数学B	2	数学特講 1
理科学	化学基礎	2	物理基礎/生物基礎	3	
保健体育	体育	2	保健	1	
	英語コミュニケーションⅡ	4	論理・表現Ⅱ	2	第二外国語 2
外国語	英会話Ⅱ	1			英検特講(2級) 1
					英検特講(準1) 1
総合的な探究の時間		2			
特別活動 ホームルーム		1			

※理科については、「物理基礎」「生物基礎」より1科目を選択。

3年生(文系)————— 文系大学への進学(「文系」の選択)

必修単位数	選択単位数
30	8

※「日本史探究」「世界史探究」についてはどちらか1科目を選択。
※「社会研究」を選択、または「日本史演習」「世界史演習」どちらか1科目と「実践英語」を選択。

3年生(理系)————理系大学への進学(「理系」の選択)

必修単位数	選択単位数
30	8

※「物理」と「生物」については、理系の生徒を対象とし、2年次に「物理基礎」を履修したものは「物理」、「生物基礎」を履修したものは「生物」を選択する。

特色ある学習 EXTRA PROGRAMS

EXTRA PROGRAMS

本講座の理論と実践をまとめた本が出版されました。『未来を生き抜く力を育むキャリア教育』（学事出版）



各界の第一人者を講師に迎え、お話を伺います。社会と第一線で向き合う方たちの言葉を通じて未知の世界への目を開き、将来を考えるきっかけとします。また、総合的な視野と幅広い教養を得ることで今後の可能性を広げていくことが目的です。



リテラシー・ラボ代表 千葉偉才(いざや)氏「多様な価値観は社会を豊かにするー若者たちの声が必要な理由ー」
株式会社UPQ代表取締役 中澤優子氏「ものづくりの世界」
スーパースカイガイド 崎原真弓氏「琉球の先人達の生き様から学ぶ肝心(チムゲクル)」

中央大学経理研究所の簿記検定講座を実施し、日商簿記検定試験の3級、2級合格を目指しています。

母校から広い世界へ。

“広く社会に貢献し、新しい時代を築く「真」のリーダーをめざすために” “目まぐるしく変わっていく時代の本質を捉え、他者から必要とされる人物となるために” そんな高い志を芽吹かせ、育て、大きく花開かせるためのあらゆる支援を、力惜しむことなく尽くしていく。それが本校のつとめです。

本校において、進学指導とは生徒たちの人生を切り拓くための羅針盤。大学進学、そしてその先の夢を一人ひとりの生徒が実現できるよう指導を行います。

附属の高校として多くの生徒が中央大学へ進学できますが、本校では生徒個々の適性や可能性にも目を向け、他大学受験も視野に入れた進学希望にも柔軟に対応しています。

放課後には、本校卒業生（令和6年度は東京学芸大1名、早稲田大1名）の協力を得てチューター制度を設けるなど、生徒たちが気軽に質問・相談できる環境も整えています。

合格大学一覧（数字は延べ人数、○数字は既卒者 3月末日現在）

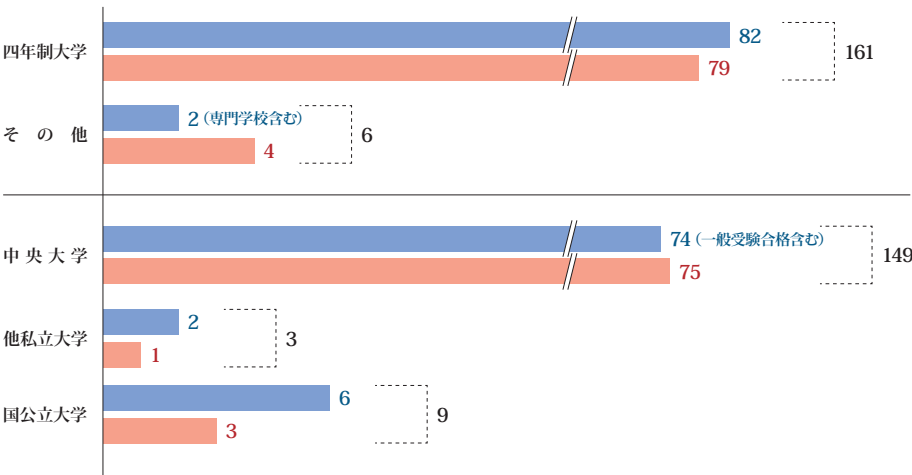
四年制大学（50音順）

国公立 ● 筑波大学（社会国際学群社会学類 1、社会国際学群国際総合学類 1）／千葉大学（薬学部薬学科 1、国際教養学部国際教養学科 1）／東京医科歯科大学（歯学部歯学科 1）／東京工業大学（理学院物理学系 1）／東京学芸大学（教育学部初等教育専攻 1）／横浜国立大学（都市科学部建築学科 1）／岐阜大学（医学部医学科 1）／名古屋大学（法学部法律・政治学科 1）／宮崎大学（農学部獣医学科 1）

私立 ● 青山学院大学（経営学部経営学科 1）／麻布大学（獣医学部獣医学科 1）／北里大学（獣医学部獣医学科 2）／慶應義塾大学（理工学部物理学科 1、環境情報学部環境情報学科 1）／工学院大学（情報工学部情報デザイン学科 1）／駒澤大学（経営学部市場戦略学科 1、経営学部経営学科 1、経済学部商学科 1）／専修大学（経営学部ビジネスデザイン学科 1、経営学部経営学科 1、商学部マーケティング学科 1）／中央大学（経済学部国際経済学科 1）／東京電機大学（未来科学部情報メディア学科 1）／東京都市大学（メディア学部情報システム学科 1）／東京理科大学（創造理工学部電気電子情報工学科 2、創造理工学部先端物理学科 1、先進理工学部生命システム学科 1、理学部応用数学科 1、薬学部生命創薬科学科 1、薬学部薬科学科 1）／法政大学（情報科学学部コンピュータ科学学科 1）／明治大学（総合数理学部先端メディアサイエンス学科 1、理工学部物理学科 1、経営学部経営学科 2）／立教大学（経済学部経済学科 1、経営学部経営学科 1）／早稲田大学（教育学部 1、社会科学部 1）／立命館アジア大学（国際経営学部 1）

卒業生の進路状況

令和6年3月卒業生 167名（男子86名、女子81名）



様々な方面で活躍する卒業生

中大高で学び、大学、社会へと羽ばたいていった先輩たちが、たった一度しかない高校時代になにを学び、どんなことを考えながら「いま」と「将来」を見据えていたのか。勉強のこと、部活動のこと、先生たちとのこと、そして友だちのこと…。色々な思いをそれぞれに抱えながら過ごした「あの頃」を振り返ってもらいました。



M・K
横河電機株式会社
第63回生 平成23年3月卒業
(横浜国立大学 理工学部卒業／横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校)
さまざまな活動を通して最後までやりきる力がつきました
高校生活では部活動（女子バドミントン部）の時間が好きでした。私の同学年は二人と少人数でしたので、先輩や後輩、顧問の先生方と共にその時々私たちにあった練習や頑張り方を考えて活動に励み、部活をモチベーションに日々の勉強に励むことができました。また、体育祭実行委員での経験や、漢検・英検・簿記検定の挑戦などさまざまな活動を通して最後までやりきる力を身につけることができた3年間でした。



I・H
株式会社野村総合研究所
第71回生 平成31年3月卒業
(中央大学 総合政策学部 国際政策文化学科卒業／千葉県印西市立西の原中学校)
広い視野をもって学ぶことができる附属校らしい学び
高3の時、内部推薦のクラスは『社会研究』という授業があるのですが、それが非常に面白かったのを覚えています。日本や世界で起きている社会課題に対して一人ひとりが興味あるテーマを選択してクラスで発表し、多角的な視点から理解を深めていく授業なのですが、私はこの授業で学んだ内容が大学での研究テーマにつながりました。普段の学習だけでなくこういった広い視野をもって学ぶことができるのは附属校ならではの良さではないかと思います。



S・S
中央大学 国際経営学部
第74回生 令和4年3月卒業
(東京中華学校)
重要なのは鼓舞しあえる仲間だと思わせてくれた部活
附属校のなかでも校則が厳しく真面目な人が多い印象があり、派手なことを好まない私に合っていると思って受験したのが中大高です。部活動（女子バスケットボール部）では体力も習得速度もほぼビリでしたが、重要なのは試合に勝てる選手だけでなく、ともに練習し鼓舞しあえる仲間だと思わせてくれた先生と仲間たちに感謝です。先生方は生徒のことをよく見てサポートしてくれ、“挑戦してみよう”という気持ちにさせてくれる存在です。



S・S
名古屋大学 法学部
第76回生 令和6年3月卒業
(柏市立柏の葉中学校)
“将来のために今を大切に”という意識を持てた3年間
将来は法律を勉強したいという漠然とした目標があり、中央大学の附属である中大高を選びました。他大学に興味があった場合は推薦を保持したまま受験が可能であることも魅力のひとつでした。中大高の同級生は先を見据える力が強く、努力家で勉強にも遊びにも全力の人が多かったです。そんな環境だったからこそ、めんどくさがり屋でなにかと後回しにしがちな私でも“将来のために今を大切に、全力で生きよう”という意識が芽生えたのだと思います。

中央大学について CHUO UNIVERSITY



1885年、「英吉利法律学校」として創立されて以来、現在に至るまで「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神を受け継いでいます。中央大学は、8学部、大学院8研究科、専門職大学院2研究科、4附属高等学校、2附属中学校を擁する総合学園となった現在において、建学の精神は、多様な学問研究と幅広い実践的な教育を通して「行動する知性。—Knowledge into Action—」を育むという本学のユニバーシティ・メッセージに受け継がれています。



多摩キャンパス



市ヶ谷田町キャンパス



後楽園キャンパス

茗荷谷キャンパス(文京区)で新時代を切り拓く法学教育を展開

新キャンパスでは、これまでの法学教育に加え、法学部と法科大学院（ロースクール）の連携教育の強化や、後楽園キャンパス（理工学部）および市ヶ谷田町キャンパス（国際情報学部）とともに、3学部共同開講科目を設置し、社会科学系と理工学系の多方面から分析できる視点を養う教育を予定しています。また、卒業生のネットワークを活かし、社会の第一線で活躍する実務家を多数招いて、様々な角度から講義を積極的に展開していきます。



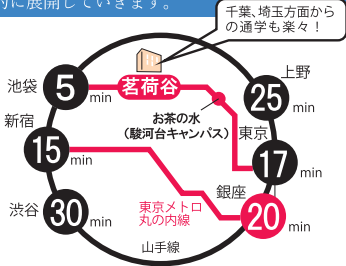
茗荷谷キャンパス



駿河台キャンパス



小石川キャンパス



学部学科・大学院研究科

法 学 部	法律学科／国際企業関係法学科／政治学科
経 済 学 部	経済学科／経済情報システム学科／国際経済学科／公共・環境経済学科
商 学 部	経営学科／会計学科／国際マーケティング学科／金融学科
理 工 学 部	数学科／物理学科／都市環境学科／精密機械工学科／電気電子情報通信工学科／応用化学科／ビジネスデータサイエンス学科／情報工学科／生命科学科／人間総合理工学科
文 学 部 人 文 社 会 学 科	国文学専攻／英語文学文化専攻／ドイツ語文学文化専攻／フランス語文学文化専攻／中国言語文化専攻／日本史学専攻／東洋史学専攻／西洋史学専攻／哲学専攻／社会学専攻／社会情報学専攻／教育学専攻／心理学専攻／学びのパスポートプログラム
総 合 政 策 学 部	政策科学科／国際政策文化学科
国 際 経 営 学 部	国際経営学科
国 際 情 報 学 部	国際情報学科
大 学 院	法学研究科／経済学研究科／商学研究科／理工学研究科／文学研究科／総合政策研究科／国際情報研究科／戦略経営研究科

専門職大学院

ロースクール (法科大学院)	法科大学院は、裁判官、検察官、弁護士などの実務法曹を育成する機関で、「ロースクール」とも呼ばれる専門大学院です。
ビジネススクール	戦略経営研究科戦略経営専攻「ビジネススクール」は、高い倫理観と品性を備え、戦略的思考に基づいて業務を遂行できるプロフェッショナルを育成する大学院です。

高大連携教育 COOPERATION BETWEEN HIGH SCHOOL AND UNIVERSITY

附属高生の利点 ゼミ生×教授

【経済学部】

経済学部の講義(今年度は後期)をオンラインで本校の教室にて受けられ、経済学部に進学した際に申請することで単位認定されます。その他、特別講義の開講など様々な連携をしています。



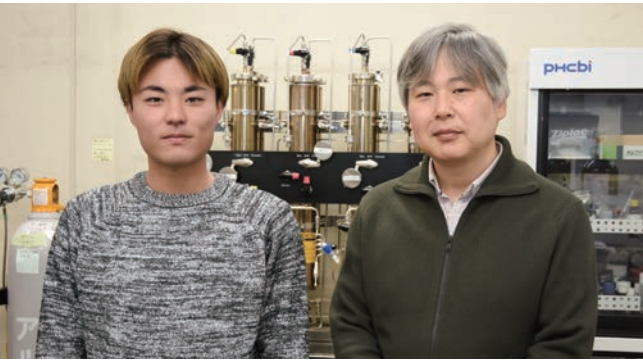
R・I (写真左)
中央大学 経済学部 経済学科
第73回生 令和3年3月卒業
足立区立千寿桜堤中学校 出身

岡本千草 (写真右)
経済学部 助教

岡本／研究室では空間経済学をテーマとしています。そのなかにおいて現4年生は経済学部プレゼンテーション大会のいくつかの部門で優勝しているのですがR・Iくんはその際も大活躍で、人の話をよく聞き、よく考え、いろいろなことを吸収しようという積極的な姿勢と議論をまとめる力を持っています。中大高には私も参加させていただいている『経済探求』や他にも『社会研究』などで自分の意見、自分たちの意見をまとめて発表する経験を積めることもその一因でしょう。そういった高大連携などを通じて高校の学びが大学でどう役に立つのかを知る機会があることはとても重要なことです。R・I／中大高の時に吉見太洋経済学部准教授の講義を受けて“経済って面白そうだな”って思いましたし、その高大連携のおかげで視野が広がったのかなと思います。先ほど岡本先生からお話のあったプレゼン大会での優勝も社会研究の授業でのプレゼン経験が活かせたのかなと思うのです。大学のキャンパス内にあるので高校生ながらに大学生活も味わえますし（笑）、先生との関係性も密で距離が近い環境も大きなプラス要素になります。そういった面も含めて、大学進学のこと踏まえたいろいろなことに打ち込みやすい環境が中大高にはあると思います。

【理工学部】

同キャンパス内の理工学部とは、理系進学者を対象に年3回の特別講義と体験実験教室を開催。また数学科では科目等履修制度により高校からの単位履修が可能です。



K・I (写真左)
中央大学 大学院 理工学研究科 応用化学専攻
江東区立深川第四中学校 出身
第72回生 令和2年3月卒業

不破春彦 (写真右)
理工学部 応用化学科 教授

不破／私の研究室では天然物の有機化学をテーマにしています。そのなかにおいてK・Iくんは非常に成績優秀で、対人スキルの高さは特質すべきものがあります。その優秀さは学科のなかで証明されている存在なので、大学院進学後は「中央大」という枠組みを超えて他大学院生と渡り合える実力を身につけてほしいですね。中大高との高大連携に関しましては私も理科特講でお邪魔したのですが、他の学校ではあまりない、大学の学びに具体的に触れる機会ですので非常に有益です。理工学部は同じ敷地内にありますので研究室にも見学に訪れてください。K・I／理工学部を選択したのは理科系が得意で好きだったことと、中大高時代に研究室にお邪魔したことがあって、親しみやすかったというのもありました。応用化学科を選んだのは実験が楽しいという単純な理由だったのですが実際に楽しいですね（笑）。理系でも特に忙しい学科なので試験やレポートを書く機会も多く、計画性は大切になってくるのですが、その部分は中大高で鍛えられていたのでもっとも救われていると感じました。中大高は大学受験にとられない分、良い意味で遊ばせない学び、取り組みが多いのも強みだと思います。

年間行事 ANNUAL EVENTS

四季折々のさまざまな体験、はじめての取り組みに戸惑いながらもみんなと力を合わせた文化祭など、学校行事を通した仲間や先生たちとの交流は、どれも、将来を豊かにするための青春の礎です。

- 4 ● 入学式 ● オリエンテーション
● 新入生歓迎行事 ● 避難訓練
- 5 ● ホームルーム合宿(1・2年生)
● 修学旅行(3年生)
- 6 ● 英語検定 ● 漢字検定
● 芸術鑑賞教室

- 7 ● 創立記念日
- 8 ● 夏期講習
- 9 ● 防災訓練 ● 後楽祭
● 体育祭

- 10 ● 英語検定
- 11 ● 生徒総会 ● 総合学習講座
● 漢字検定
- 12 ● 補習習

- 1 ● 推薦入学試験 ● 英語検定
- 2 ● マラソン大会 ● 一般入学試験
● 漢字検定
- 3 ● 卒業式



クラブ活動 CLUB ACTIVITIES

10の運動部、9の文化部、そして生徒会、5つの委員会など、約9割の生徒が放課後の活動を行っています。それぞれの部が練習の工夫などにより成果を上げ、バレーやバスケットなどのアリーナ系の部はもとより、グラウンドがない中でも野球やサッカーなどのクラブも活気づいています。

運動部



男子バスケットボール部

堅守速攻、テキパキとしたバスケが持ち味です。コミュニケーションを大切に弱点を補い合いながらチームワークで勝てるチームをめざしています。



女子バスケットボール部

みんなで高め合うことでチーム力の向上につなげていきたいと思っています。そのために声かけや励まし、コミュニケーションを大事にしています。



剣道部

『気・剣・体』を大切に練習に取り組み、攻める姿勢を持ち積極的に自分から問合いに入っていく剣道をめざしています。楽しい雰囲気も部の自慢です。



サッカー部

声を出すことでみんなの士気が上がりチームの勝利につながっていく。そんな活気のある部活動をめざしています。理想は「楽しさと勝利の両立」です。



軟式野球部

オンオフをしっかり意識した行動と練習を前提に、全員野球で僕たちに携わってくれた方々全員に感謝を伝えられるようなプレーを心がけています。



男子バレーボール部

多彩な攻撃ができるよう基礎中心の練習をしています。大切にしているのは仲間との関わり合い。互いに支え合い、ステップアップしていきましょう！



男子バドミントン部

楽しみつつケジメある練習でストレッチと基本練習を大事にしています。部の自慢はまとまりの良さ。楽しんでもらいたいのので気軽に入学してください。



女子バドミントン部

技術はもちろんですが、“考える力”があれば実力差のある相手にも勝つことができるのがバドミントンの魅力！ 部員みんなが主体的に動ける女バドです！



硬式テニス部（男子）

基本を大事にしつつ、個性を活かしたプレースタイルを磨いています。常に上をめざす姿勢とメリハリのある練習も部の特長です。



硬式テニス部（女子）

“テニスが楽しい！”を第一に“バリバリ”というより“ふんわり”とした雰囲気、いいことも悪いことも言い合える仲のいい部です。マネージャーも大募集！

文化部



茶道部

裏千家の先生をお招きしてお点前や作法、所作、浴衣の着付けなど日本の伝統文化を学んでいます。相手を思いやる気持ちを学べるのも茶道ならではの。



吹奏楽部

コンクールや文化祭、クリスマスコンサートなどに向け各パートの基礎練習や基礎合奏を繰り返しています。その成果が演奏に表れると楽しいですよ！



合唱部

ジャンルにこだわらずJ-POPや海外の曲など自分たちの好きな音楽を和気満々と練習しています。大切にしているのはみんなで楽しく活動することです。



文芸部

部誌に掲載する小説や詩など書きたいものを自由に書いて楽しんでいます。作品は自分自身。それをどう言語化し表現するかが作品作りの醍醐味です。



パソコン部

eスポーツの大会に出るeスポーツ部門とプログラミングやCGを制作するIT部門に分かれて活動しています。前者は仲の良さ、後者は自由度がウリです。



書道部

書にはいろんな字体、いろんな書き方があります。そのなかから自分自身に合う字体を先生と一緒に辿りながら、それを作品として表現していきます。



美術部

絵を通して自分が描きたいと思った世界を伝えられるのが面白さ。そんな作りたいものをみんなで自由に、仲良くワイワイと、楽しく表現しています。



演劇部

役作りを通して今まで知らなかった自分に出会える演者。照明や音響などの作業を行う裏方は人とのコミュニケーション力や観察力が磨かれます！



軽音楽部

大半が初心者ですが練習を重ねることで成長を実感できるのが醍醐味のひとつ。ライブでお客さんと一体となって楽しむことができるのも醍醐味です！



生徒会

行事などは生徒主体で行う中大高。その先導役を務める私たちは、いわば船を仕切る船頭さん。学校全体の学級委員のような役割を果たしています。

委員会



放送委員会

始業式や終業式など、式典の準備やマイクの音量調整などを行っています。節目に行われる大切な行事を陰で演出する縁の下での力持ち的存在です。



図書委員会

冊子『くすのき』を作る部と企画部、広報部に分かれ活動しています。自分の知らない世界を疑似体験できる本の素晴らしさを皆さんにお届けします。



文化祭実行委員会

100人近いメンバーで文化祭を一から企画して運営するのが私たち。やりがいと責任感のある役割をみんなで協力しながら進めるのは楽しいですよ！



修学旅行委員会

国内の行き先を含めて企画段階から生徒たち主体で作り上げていくのが中大高の修学旅行。めざすのは、一人ひとりが納得できて楽しめる旅行です。



体育祭実行委員会

競技の選定、ルール見直し、式の進行、審判など運営全般に携わっています。みんなが楽しめてコミュニケーションが深まる体育祭を私たちの手で！

在校生のメッセージ STUDENTS MESSAGE

在校生が語る中大高生活

「家族的情味」の言葉に示されるアット・ホームな雰囲気、そして附属校という利点を活かして、多くの生徒が受験勉強のみに捉われない高校生活を送り、部活動や委員会活動などに励んでいます。そんな生徒たちからみた中大高の様子と自身の成長などを語ってもらいました。



S・F
3年生／サッカー部
埼玉県久喜市立鷺宮東中学校出身

やるべきことはやる、楽しむところは楽しむ中大高生

大好きなサッカーを大学受験にとらわれずに続けたいと思い志望したのが中大高です。自宅が遠いので朝の始業時間が遅いのも魅力でした。中大高に進んでよかったと思うことはいろんなことにチャレンジできる環境が揃っていることです。受験がないからこそ、部活動や文化祭、体育祭などにも全力で取り組めるのです。行事などは基本的に生徒主体なので自分たちで考えて行動する機会も多く、それはとてもプラスになっています。そんななかで学ぶ中大高生はやるべきことはやる、楽しむところは楽しむ、そういった部分がしっかりしている印象です。



K・S
3年生／吹奏楽部
千葉県市川市立高谷中学校出身

大学や社会で役立つような実践的な勉強ができます

受験のための勉強ではなくて、英語や『社会研究』などの授業でのグループワークやプレゼン、国語のディベートなど、大学や社会で役立つような実践的な勉強ができるのが中大高です。学校生活のいろいろな面で生徒に任せてくれるのも中大高らしさで、私の場合は部活動（吹奏楽部）の練習スケジュールや発表会の運営などを一任してくださったり、時にアドバイスをもらことによって、いい意味で周りに頼ること、周囲を見ることの大切さに気づくこともできました。中大高は私にとって居心地のいい場所。卒業しても戻って来なくなる家みたいところです。



D・K
2年生／男子バレーボール部
千葉県流山市北部中学校出身

勉強も部活動も行事も、それぞれ充実しています

他校と比べて生徒数が少ないので、いろんな生徒と関われるのでは…と思って中大高を選びました。入学前のイメージは“運動が苦手な子が多いかな”だったのですが体育系の部活もけっこうあって、実際には運動のできる子や明るい人が多い学校だと思います。普段の学校生活では周りのみんなが声をかけてくれたり、勉強やいろいろな活動などではお互いに助け合う優しい雰囲気の学校でもあります。そういった環境なので、僕自身も中学の頃と比べると積極的にみんなと関われるようになったと思います。勉強も部活動も行事も、それぞれ充実しています。



H・Y
2年生／演劇部
江戸川区立小松川第一（現・小松川）中学校出身

小テストも多いけれど力がつくのが魅力

中大高の最初のイメージは“都心にあって立地がいい学校”でした。大学附属ということで勉強に関してはちょっとサボっちゃう人もいるのかな…とも思っていたのですが真面目な人が多く、いい意味で競争のできる環境で、小テストも多いのでサボることなんてできないですね（笑）。でもそのお陰で力がつくのでいいかなと思っています。附属校でありながら『特講』や共通テスト対策もしっかりしている部分もいいところ。私は他大受験も考えているのですが、中央大学への推薦入学の資格を保持したまま挑戦できるのも中大高の魅力だと思っています。

制服 SCHOOL UNIFORM

生徒の意見も採り入れてデザインされた制服。男女共、シャツ・セーター・ベストは2色から選択。女子はリボンとネクタイを好みに応じて選ぶことができ、替えスカートと夏用リボンも着用できます。ボタンは、家族的情味を象徴する「もみじ葵」をデザイン化したものを採用しました。

なお、スラックス・ポロシャツは男女共用とし、スラックスはシルエットが異なる2種類を用意しています。＊は任意のアイテムです。



在校生メッセージ



H・S
2年生 生徒会副会長
江戸川区立二之江中学校出身

しっかりと指摘してくれるからこそ、安心できる場所

僕は率先して人と話をするということがあまり得意ではないのですが、小規模校である中大高で生活していると、知っている人ばかりなので話しかけやすく、そのなかで人との接し方というものを模索できています。先生方も生徒の情報を共有してくれているので多くの先生が僕のことをよく知っていて、優しいだけではなく悪い部分はしっかりと指摘してくれます。だからこそ、この学校は安心していられる場所だと思うのです。

STUDENTS'
VIEW POINT

FREQUENTLY ASKED QUESTIONS ● よくある質問

Q. 昼間定時制と全日制の違いについて説明してください。

- A.** 全日制と定時制の違いは、学校設置基準によるものです。本校は昭和3年に夜間定時制高校として認可を受け（中央大学内に設置）、独自の校地・校舎を持たない状態のまま歴史を重ねてきました。昭和55年に現在の後楽園キャンパスへ移転して初めて独立した校舎を持ちましたが、グラウンドや体育館はないままでした。平成5年に教育課程を変更し、授業時間帯を昼間に移行して再出発しました。しかし、施設面では依然として全日制高校の設置基準を満たせていません。したがって、本校は設置基準によって定時制課程と分類されていますが、授業、特別活動などにおいては全日制と変わることはありません。また、部活動に関しては、すべて全日制の大会に参加しています。

Q. 学校説明会には毎回出た方がいいですか。

- A.** 1回はお越しになることをお願いしたいと思います。本校は大学キャンパス内にあり、一般的な高等学校の環境とはかなり違うことをご確認・ご理解いただくためです。ただし、参加回数による有利不利はありません。

Q. 中央大学へはどのくらい進学できますか。

- A.** 現在のところ約9割の生徒が進学しています。高校からの推薦順位は、学業成績・特別活動・出席・資格・実力テストの成績などを総合して算出されます。学業成績が基準に達していない場合には、推薦資格が得られませんので日常の予復習や授業への取り組み姿勢が大切です。また推薦されるためには、現行における英検®2級の資格を有していることが必須となります（ただし、相応の事情があり、その資格を取得できない場合は、校長がその資格に相当する学力を有すると認めた者）。

Q. 部活動、委員会活動について説明してください。

- A.** 約9割の生徒が所属して活動しています。高校生活を充実したものにするためには欠かせないものと考えていますが、活動場所や日数には制限があるため、郊外の施設を借用するなど工夫して活動しています。

Q. 始業時間、就業時間が遅いと聞きましたが……また土曜日の授業やカリキュラムについても説明してください。

- A.** 朝は、9時15分までに入室、その後ショートホームルーム（SHR）、授業。授業終了時間は15時50分、その後SHRと清掃。さらにクラブ活動などが後片付けを含めて18時45分まであって、最終下校時刻は19時です。また、0時限〔特別講座、自由選択科目、補講、補習〕は8時～9時に行われます。土曜日に関しては1、2年次は正課の授業を行っています。

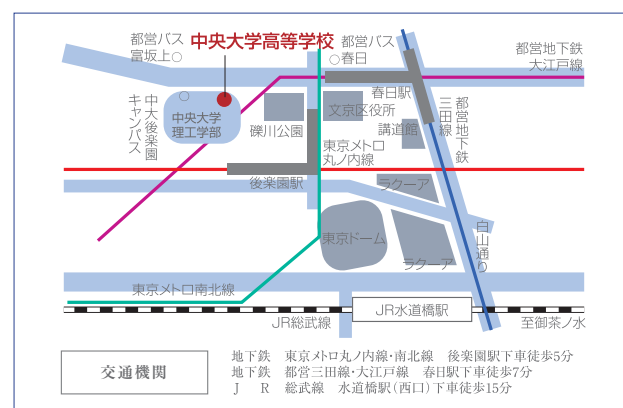
時程表					
月～金 ※土は1、2年のみ午前授業あり	0	時	限	8:00	～ 9:00
	S	H	R	9:15	～ 9:25
	1	時	限	9:25	～ 10:15
	2	時	限	10:25	～ 11:15
	3	時	限	11:25	～ 12:15
	4	時	限	12:25	～ 13:15
	昼	休	み	13:15	～ 14:00
	5	時	限	14:00	～ 14:50
	6	時	限	15:00	～ 15:50
	S	H	R	15:50	～ 16:00
	7	時	限	16:30	～ 17:20
	8	時	限	17:20	～ 18:10
	最	終	下	校	19:00

Q. 他大学併願制度について説明してください。

- A.** 中央大学への推薦を得た人が、その資格を留保したまま（入学金は必要）、国公立大学または中央大学にはない学部・学科（医・歯・薬・獣医・看護）を受験することができる制度です。しかし実際には、附属の高校で推薦資格を取るには全ての授業を誠実に学習することが必要なので〔全科目主義〕、受験勉強との両立には、しっかりと進路に対する意識や目標に沿った努力と覚悟が必要です。

Q. 入学手続きに必要な費用はどれくらいですか。

- A.** 入学申込金300,000円、後援会入会申込金7,000円、生徒会入会申込金2,500円が必要となりますが、後援会入会申込金と生徒会入会申込金については、公立高校（東京、神奈川、千葉、埼玉）受験者は、手続きをすることによって公立高校合格発表日まで延納することができます。詳細は、2025年度生徒募集要項でご確認ください。
※学納金は経済情勢の変動等により改定することがあります。



〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27
tel. 03-3814-5275
<https://www.cu-hs.chuo-u.ac.jp/>



ENTRANCE EXAM ● 2025年度(令和7年度)入学試験概要 EVENT SCHEDULE／ACCESS ● 公開行事／交通

	推薦入学試験	一般入学試験
募集人員	男子 25 名 女子 25 名	男女 70 名
Web出願入力開始日	12月20日(金)	12月20日(金)
出願書類受付期間	1月15日(水)まで※郵送必着	1月25日(土)～1月31日(金)※最終日郵送消印有効
試験日	1月22日(水)	2月11日(火・祝)
合格発表日 (本校Webサイト)	1月22日(水) 22:00時頃	2月12日(水) 22:00時頃
入学書類交付日	1月23日(木) 10:00～11:00	2月13日(木) 10:00～11:00
入学手続期間	1月23日(木)～1月24日(金) 15:00	2月13日(木)～2月14日(金) 15:00
延納	なし	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の公立高校を併願し、本校所定の手続きをして許可された者について合格発表日まで納付金の一部延納を認めます。詳細は2025年度募集要項にてご確認ください。
出願資格	1. 2025年3月中学校（海外の日本人学校を含む）を卒業見込みの者。 2. 本校を第一志望とし、人物に優れ、素行に問題がないこと。 3. 在学中中学校長の推薦を受けた者。 4. 欠席・遅刻・早退の合計が3年間で15未満であること。ただし、入院等の特別の事情がある場合は出願を認めることがある。 5. 3年次調査書評定の合計（必修9教科）が、5段階評定で3以上7以下の者。 ※詳細は募集要項参照 6. 中学校3力年を通じて、評定の1・2がないこと。 ※1・2年次の学年末成績及び3年次調査書評定 7. 保護者のもとより通学可能な者。	1. 2025年3月中学校（海外の日本人学校を含む）を卒業見込みの者及び中学校卒業生。 2. 保護者のもとより通学可能な者。
出願書類	①推薦書(本校所定書式) ②調査書(本校所定書式) ③写真票 ④面接写真票	①調査書(本校所定書式) ②写真票 ③面接写真票
入学検定料	30,000 円	30,000 円
試験内容	面接試験：個人面接約10分 基礎学力調査：国語・社会（合計60分） 数学・理科（合計60分） 英語（40分・リスニング含む） 配点：英(45)・国(40)・数(40)・理(35)・社(35)	面接試験：受験生6～7名のグループ面接 約10分 筆記試験：国語（50分）・数学（50分） 英語（60分・リスニング含む） 配点：国(100)・数(100)・英(100)
合否判定	面接試験での判定 調査書・基礎学力調査による総合判定	面接試験での判定 筆記試験・調査書による総合判定
備考	推薦入試を受験した一般入試受験生については、筆記試験（300点満点）の得点に対し10点をプラスする。	

学校説明会

● 7月28日(日) ● 8月28日(水) ● 10月13日(日)
● 11月17日(日) ● 12月15日(日)

場 所：本校および中央大学後楽園キャンパス 5号館

- ① 各回 14:00～15:30
② 全日程予約制です。
③ 詳細は本校Webサイトをご覧ください。

後楽祭(文化祭)

9月7日(土)・8日(日)
詳細は本校Webサイトでお知らせします(8月初旬掲載予定)。

「生徒会主催」学校説明会

11月9日(土) 14:00[予約制]
詳細は本校Webサイトでお知らせします(9月中旬掲載予定)。